

今は無き

# 長久保城の話

ながくぼ

秀吉と宗廉、  
作戦会議の城!!

Enjoy!

Nagaizumi

Sanpo

発行 ながいずみ観光交流協会



長久保城の歴史を再現した出陣武者行列風景(2010年9月)

## 今川・北条・武田・豊臣・徳川にとって 重要な意味をもっていた長久保城



長泉町ふるさとカルタより

**騷乱の時代に在りし 長久保城**  
戦国時代の平山城で、戦略上の要害にあったため今川氏、武田氏、北条氏、徳川氏がこの城をめぐって争った。発掘により三日月堀(甲州流の築城術)や畝堀(北条氏の築城術)が発見された。城郭は大部分が失われ、僅かに長泉北小学校正門前の空堀・土塁・曲輪と城山神社境内の曲輪・土塁が残っている。



北条の畝堀



武田の三日月堀

クチコミ  
その1

### 砦から城へ…長久保城の移り変わり

鎌倉時代初期、竹之下孫八左衛門頼忠が、長久保の地(現在のウェルディー長泉周辺)に砦を築いたのが長久保城の始まりといわれ、本格的な城が築かれたのは戦国期。今川氏が築城し、その後、後北条氏との間で争奪戦があった。

桶狭間の戦いで今川義元討死以降、武田氏が駿東地域に侵入を開始。その後武田氏と後北条氏との勢力争いの末、武田氏の城となったが、武田氏が滅亡すると、駿東地方は徳川家康の領するところとなった。



長久保城址説明図



長泉町ふるさとカルタより



牛ヶ淵

**秋姫の伝説残る 牛ヶ淵**  
長泉北中学校北側の黄瀬川の深い淵を「牛ヶ淵」と呼んでいて、この淵には悲しい伝説がある。ある豪雨の夜、長久保城が武田軍に攻められ落城してしまいました。城の秋姫は、数人の兵士や乳母に守られ牛車で城を抜け出したが、濁流渦巻くこの淵に牛車もろとも転落し、命を落としてしまったという。



牛ヶ淵



長泉町ふるさとカルタより



▲▲ 長久保城出土品の数々文化財展示館にて展示(コミュニティながいずみ2F)

**血に染まる 鎧洗いし 鎧ヶ淵**  
長久保城をめぐって多くの武士が戦った高橋での合戦で、血に染まった鎧や刀を洗ったり、激戦で使用不能になった鎧を沈めた淵といわれている。また、傷つき敵に追われた武者が馬を淵に乗り入れ、自ら命を絶ったという話も伝わっている。

江戸時代(1603年)		安土桃山時代(1573年)		室町時代(1336年)		鎌倉時代(1185年)		長久保城の歴史年表(一部異説あり)
支配者	出来事	支配者	出来事	支配者	出来事	支配者	出来事	
徳川氏	長久保城廃城	徳川氏	長久保城で秀吉と家康が小田原攻めの最後の軍議	今川氏	長久保城支配(長久保氏)	竹之下孫八左衛門	砦築く	
	『一柳直末が戦死』 『一柳直末公首塚』	豊臣氏		北条氏	長久保城修復			
		徳川氏		今川氏	長久保城下の戦い			
		武田氏	秋姫が牛車と共に淵に身投げ 『牛ヶ淵の由来』	北条氏	長久保城下の戦い			
		北条氏		北条氏	『鎧ヶ淵の由来』			

